

目標達成計画

事業所名 グループホーム のぞみ・ささえ作成日: 令和 2 年 4 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	49	評価結果と目標達成計画は家族にも送付して報告しており、運営推進会議で取組み状況等について報告しているが、地域関係者の理解が得られていないほか、モニターをしてもらうまでにも至っていない。今後は、地域等会議の参加者に事業所の取組みが分かりやすいように説明を行い、モニターを依頼して意見や要望等が実践に反映されるよう工夫して欲しい。	入居者家族、地域の方が理解しやすいよう説明報告を工夫し、意見や要望などに対し、実践に反映されるようになる。	・運営推進会議などの機会を利用し、事業所の取り組み内容や入居者の経過報告など、言葉を噛み砕いて確認も交えながら報告し意見や要望など抽出に努め、対応していく。	12 か月	運営推進会議を活用し、専門用語など噛み砕いた説明を意識し対応している。
2	50	火災や地震を想定して避難訓練を実施している。運営推進会議には地元消防団の参加もあり、訓練についての話し合いもされ、緊急通報装置も設置されている。避難訓練は隣接している法人施設と合同で実施しているが、近隣住民等が参加する地域合同での避難訓練の実施には至っていないため、緊急災害時に安全が確保できるよう地域との連携構築にも努めて欲しい。	地域住民の協力体制を整備するため、先ずは避難訓練実施時の様子など見学して頂き、意見など収集し定期的に報告機会を設ける。	・避難訓練実施予定を事前に、運営推進会議や、月1度のホーム喫茶などを通じ、地域住民へお知らせを行う。 ・地域住民の協力体制を整備するため、先ずは避難訓練実施時の様子など見学して頂き、意見収集など定期的に報告機会を設ける。	12 か月	運営推進会議を活用し、経過報告の中、現状意見など問い合わせは直ぐに対応できる
3		月に1回ホーム喫茶を開催し、地域の高齢者や家族等への相談支援の場を提供しているが、地域の相談ニーズを対応するまでには至っていないため、事業所の相談支援を地域に積極的にPRする等、相談ニーズを充足する取組みが望まれる。	相談件数が増える。	・ホーム喫茶など交流時、地域での困りごとや、介護福祉に関することなど相談がしやすいような雰囲気作りや、質問の仕方などを工夫し、迅速に対応できる案件は解決に努める。	12 か月	現状、地域の方から困り事などの相談は聞かれていないが、今後も地域に寄り添い、少しでも地域貢献を進めていく。
4						

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】			
実施段階		取 り 組 ん だ 内 容	
		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()